



めいしょう



2014. 11
第150号

だより



朝夕の冷え込みが一層厳しくなってきました。皆様はいかがお過ごしでしょうか。今回は11月1日に開苑10周年を迎える草加明生苑にスポットをあてていきたいと思ひます。施設長、介護課課長にお話を伺ってきました。

＜草加明生苑 10周年＞

○10周年を迎えていかがですか？

★田中施設長→あつという間の10年です。草加市の皆様を知って頂くための10年でした。お陰様で新田駅前にある草加明生苑がリハビリの出来る元気な施設、介護で困った事があれば、草加明生苑に相談すれば大丈夫と言ってもらえるようになりました。

★寺本介護課課長→10年間の経験と知識をこれからの新たな節目に向かって田中施設長の下、職員の方達と草加明生苑の特色が出せたらと思っています。職員皆とこの喜ばしい節目を迎える事に感謝しております。

○介護に対する思いを教えてください。

★田中施設長→利用者様の笑顔と優しいお声掛けに癒される毎日です。

★寺本介護課課長→入居者様と過ごす時間を大切に、苑で過ごす喜びや楽しみ、安心を入居者様やご家族様へ感じて頂けるよう、丁寧なサービスを心掛けていく事です。

○今後の抱負を教えてください。

★田中施設長→今年度は新たに看取りケアを開始致しました。今後も利用者様のあらゆるニーズに答えていく事ができるように、地元の方々に今以上に愛されるように、そして何よりも利用者様に優しい施設でありたいと思っております。

★寺本介護課課長→有料・ショートステイ・デイサービスの利用者様に、苑の良さをそれぞれの方に分かりやすくお伝えすることが出来るような環境づくりを、職員皆で取り組んで参りたいと思ひます。また、介護課長として入居者様をはじめ、施設全体に元気と明るさを提供して参ります。



→左から寺本介護課課長
浅沼主任、金子副主任



<http://www.hukushi-e.com> ホームページはこちらから



シリーズ 介護の現場から vol.6

「シリーズ 介護の現場から」認知症ケアについて考える。

六回目の今号も、皆様と認知症について考えてみたいと思ひます。

さて、前号にて「オレンジプラン」の概要について述べてみましたが、今号はその内容について掘り下げていきたいと思ひます。「オレンジプラン」では、7つの項目に対して、それぞれ目標が定められている事をお伝えしましたが、その目標とはどのような内容でしょうか？

- 1、標準的な認知症ケアパスの作成・普及…認知症ケアパスとは、認知症の進行状況に合わせて提供される医療や介護サービスの標準的な流れを示したものとされています。
- 2、早期発見・早期対応…かかりつけ医により早期診断、対応ができるよう「かかりつけ医認知症対応力向上研修」等を実施し、認知症疾患医療センター等を約500か所配置することなどが目標となっています。
- 3、地域での生活を支える医療サービスの構築…薬物治療に関するガイドラインを作成します。精神科より退院後に在宅復帰を円滑に進めるためにクリティカルパス(入院⇒退院の診療計画書)を作成します。
- 4、地域での生活を支える介護サービスの構築…認知症ケアが可能となるよう介護サービスを整え、在宅生活が困難になった場合は施設対応ができるようグループホーム等の地域密着サービスを整えます。

残り3つの項目に関しては、次号に述べさせていただきます。

認知症ケア専門士 西岡伸介



←草加明生苑の
課長、主任、副主任、リーダー

